教え方のズレ KPI記録シート

週間記録 ／ 指導者同士の事前共有と、教え方の違いによる再説明・手戻りを振り返る

現場名：＿＿＿＿＿＿＿＿　監督：＿＿＿＿＿＿　職長：＿＿＿＿＿＿

記録期間：　　年　　月　　日 ～　　月　　日

1　教える前に、手順・判断基準・確認方法をそろえる

対象の作業・教わる人／共有する指導者：

作業手順（教える順序・必ず守る手順・条件による違い）：

判断基準（何を見て・どう判断するか／迷ったときの相談先）：

確認方法（理解・作業結果を、誰が・いつ・どう確かめるか）：

2　終業時に記録する

プロセスKPI：教える前に、指導者同士で作業手順・判断基準・確認方法を共有できた回数

結果KPI：教え方の違いによる再説明・手戻り件数

日付	指導者同士で教える前に 3項目を共有できた回数	教え方の違いによる 再説明・手戻り件数	対象作業・共有した指導者 教え方の違い・再説明や手戻りの内容
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
合計	回	件	

※ 回数：教える前に指導者同士で3項目すべてを共有できたら1回。同じ指導に向けた繰り返し共有は除外。
※ 件数：教え方の違いで再説明・やり直しが必要になった事案を、判明日に1件。両方生じても同じ事案は1件。
※ 予定した復習や、条件変更に伴う説明は除外。教え方の違いが原因か関係者で確認。該当なしは「0」、休日は「休」。

3　気づきと、次に指導者同士でそろえる内容・共有方法

人を責めるためではなく、教わる人が迷わないよう、指導者同士で基準や確認方法をそろえるために使います。